一般質問

市政全般にわたり15人の議員が質問
（要旨を掲載）

自転車事故の安全対策を急げ！

吉田　義人　議員《新政いさま》

自転車は、原則として車道の左側を走行しなければなりませんが、市民への周知が徹底されておらず、交通ルールの認識不足による事故が多発しています。近隣市では、大和市が自転車通行帯の整備を行っており、座間南林間線の行政界まで整備されていますが、本市は整備されていません。本市側の当該路線整備を当局に要望したところ、行政界から続けて整備を進めるとの回答を頂きましたが、今後の更なる自転車通行帯の整備について見解を伺います。

また、本年5月、神奈川県交通安全対策協議会は、本市を自転車事故多発地域と指定しました。6月には悪質な自転車運転者に対し、厳罰化を明確にした改正道路交通法も施行されました。このように自転車のマナーが問題視されている今日、中学生や大人はもちろんですが、小さい子供たち、特に小学校低学年から自転車教育を実施すべきと考えますが見解を伺います。

市長　今後、自転車利用環境創出ガイドラインに従って自転車ネットワーク計画の策定に取り組みたいと思います。

教育長　小学校3年生までは、公道での乗車はしないよう指導をしていますが、教育用ＤＶＤの上映等ができるかを考えたいと思います。

仲よし小道のさらなる安全性の確保を！

荻原　健司　議員《新政いさま》

本市では、仲よし小道の安全性について、相模が丘地域内における市道との各交差点のカラー舗装、飛び出し防止対策としてのプランターの設置、市マスコットキャラクターざまりんをあしらった飛び出し注意看板の設置など計画段階から地域住民と綿密な協議をし、完成後も必要に応じて対策を講じてきました。

一方で、信号機や横断歩道までの移動の不便さなどから、管理を委託されているＮＰＯ法人の方が維持管理活動を行う際、信号機も横断歩道も設置されていない県道51号線の横断をされているという現状があります。

また、踏切際に設置されている小さな広場のテラスで今後イベントなどが開催された場合、さらなる横断歩行者の増加が見込まれることから、大小問わず事故が起こる前の対応が喫緊の課題と考えますが、当局の見解をお示しください。

都市部長　県道51号線の横断について、道路交通管理者である座間警察署と協議したところ、近接する既存の横断歩道や信号機を移設することは可能であり、移設先の位置等について地域住民の意見を集約した上で、道路交通管理者へ申し出ていただきたいとの回答を得ています。

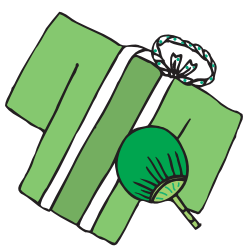
子育て世代への支援、小児医療費助成の拡充を！

星野　久美子　議員《日本共産党》

厚生労働省が２０１４年に１７４２自治体に行った小児医療費助成の調査では、通院で中学校卒業またはそれ以上まで助成する自治体は１１３４市区町村、全体の65％に上ります。また、８割近い１３７３の市区町村が所得制限を設けておらず、拡充が広がった背景には、少子化への危機感や地域間競争があるものと新聞は伝えています。県内では中学校卒業までを対象としている市町村は10自治体です。人口問題を考えたときに助成制度を充実させることは子育て世代への支援として、大変重要になってくると考えます。本市の人口は前年同時期と比べると減少していますが、中学校卒業まで小児医療費助成がある近隣3市、厚木市、大和市、海老名市では増加しています。小児医療費助成の制度だけが人口増加の要因ではありませんが、大きな要素の一つであると考えます。

小児医療費助成の対象を中学校卒業までに拡大する考えがあるのか伺います。

市長　本市が小児医療費助成を中学3年生までにしたとしてもここで差がつかなければ、また背伸び合戦が始まります。本来は国がやるべき施策を国に求めつつ、財源に優先順位をつけながら対応していきたいと思います。



仲よし小道（桜並木）基本構想策定について

中澤　邦雄　議員《日本共産党》

仲よし小道（市道13号線）の小松原、ひばりが丘、東原にかけての桜並木沿いの延長約３㎞に及ぶ歩道等の整備に関わる事業として、基本構想策定の委託料が予算計上されていますが、内容を伺います。

東原の桜並木部分の道路の幅員は19ｍと広く、これは戦前に相模高座海軍工廠の中央の道路であり、製造した飛行機の滑走路兼用としたためです。この道路沿いには昭和28年、畑地かんがい用水路の西幹線が完成し、これを祝い地域の農家の人たちが桜の木を植え今日に至っています。

昭和45年に東原保育園、同47年に東中学校、同48年に東原小学校、同49年に東原児童館や国道２４６号バイパスの一部開通、同50年にはさがみ野駅開業などの整備が進み、そして、地域の自治会連合は畑かん用水路の整備を陳情し、昭和51年、県が仲よし小道事業として整備を行いました。このような歴史の重みを生かし、また、花の街づくりを行っている人の意見も生かし、検討していただきたいと考えますが、所見を伺います。

都市部長　コミュニティ醸成の核となる緑道の再生整備を実施する予定です。畑地かんがい用水路の歴史的経緯や桜のあり方、地域の人の意見も取り入れ検討していきます。

自主防災組織の組織率を問う

沖本　浩一　議員《ざま大志会》

自主防災組織の組織率について調査したところ、県内では5市5町で１００％を示すところがある中、本市は42・7％と県内最低であります。組織率は「管内世帯数」分の「組織されている地域の世帯数」で表されますが、「組織されている地域の世帯数」の定義とはなにか、その定義のとらえ方を本市は誤っているのではないか。また、誤っているのであれば、直ちに組織率を修正し県に報告するなど早急な対応を求めますが、見解を伺います。

市民部長　本市は、市内自主防災組織に加入している世帯数を報告していましたが、改めて確認したところ「組織されている地域の世帯数」とは、「それぞれの自主防災組織が活動範囲としている地域の全世帯数」のことでありました。災害時の活動実態を示す数値としては本市のとらえ方がより実践的ではないかと考えますが、早急に県へ報告し調整を図るとともに、今年度の報告から是正した組織率の数値にします。

【再質問】実践的な組織率の考え方には賛同します。国の定義に基づいた組織率を明らかにしてください。

市民部長　組織率は、平成27年4月1日現在で93・76％になります。

地域包括ケアシステムの構築を

佐藤　弥斗　議員《ざま大志会》

高齢化社会への対応として、国では平成37年度をめどに30分以内にサービスの提供を行える日常生活圏域（中学校区単位）での地域包括ケアシステムの構築を推進しています。これに向け、市、社会福祉協議会、地域包括支援センター、市民の役割を整理し、各地域の社会資源を把握し、それぞれの実情に合わせたコーディ

（5面へ続く）

本会議の概要

▽5月29日　開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議案上程・提案説明・総括質疑・委員会付託、請願及び陳情上程・委員会付託、報告上程・質疑、議員提出議案上程・（提案説明・質疑・委員会付託・討論）省略・採決

▽6月5日　一般質問

▽6月8日　一般質問

▽6月9日　一般質問、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託

▽6月22日　委員会審査報告・質疑・討論・採決、継続審査案件上程、基地対策特別委員会中間報告・質疑、議会改革特別委員会中間報告・質疑、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、報告上程・質疑、陳情上程・委員会付託、議員派遣、議員提出議案上程・提案説明・質疑・委員会付託省略・討論・採決、議員提出議案上程・（提案説明・質疑・委員会付託）省略・討論・採決、議員提出議案上程・（提案説明・質疑・委員会付託・討論）省略・採決、閉会

なお、質疑、討論、総括質疑は、次の議員が行いました。

議案第44号～第46号に対する質疑（5月29日）

守谷浩一（日本共産党）、安海のぞみ（神奈川ネット）、沖永明久（会派に所属しない議員）

議案第44号に対する討論（5月29日）

沖永明久（会派に所属しない議員）

総括質疑（5月29日）

松橋淳郎（ざま大志会）、星野久美子（日本共産党）

報告第2・第3号に対する質疑（5月29日）

中澤邦雄（日本共産党）、沖永明久（会派に所属しない議員）

討論（6月22日）

伊藤正（新政いさま）、安田早苗（公明党）、守谷浩一（日本共産党）、松橋淳郎（ざま大志会）

報告第4号に対する質疑（6月22日）

安海のぞみ（神奈川ネット）

議員提出議案第11号に対する質疑（6月22日）

荻原健司（新政いさま）

議員提出議案第12号に対する討論（6月22日）

上沢本尚（公明党）、沖永明久（会派に所属しない議員）、長谷川光（新政いさま）